

カンサス州：小麦作柄と気象状況

2002年7月16日

カンサス州南西地区と南中央地区で0.49～0.63インチ降水があったが、他の地区では殆ど降雨は無かった。気温は高く州西部では102～107度Fであった。他の地区でも最高気温は100度前後であった。州平均農作業可能日数は6.2日となっている。冬小麦の収穫作業は全州で完了した事より、今後は土壌水分状況に加え、2002年産小麦の品質情報を掲載する。

2002年7月14日現在：

土壌水分状況：

Topsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	46	28	86	62	37	25	35	16	1	36	27	19
Short (%)	42	51	14	34	50	51	47	52	18	38	47	49
Adequate (%)	12	21	0	4	13	24	18	32	79	26	25	28
Surplus (%)	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	4

Subsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	54	38	87	42	39	27	15	11	0	33	26	10
Short (%)	38	52	13	44	44	40	53	47	18	37	39	41
Adequate (%)	8	10	0	14	16	33	32	42	78	29	35	48
Surplus (%)	0	0	0	0	1	0	0	0	4	1	0	1

(WeekとはLast weekを意味し、YearとはLast yearを意味する)

カンサス州の硬質赤色冬小麦 (Hard Red Winter wheat) の主産地である州西南地区を始め週の西部、中央南部では降水が昨年来より少なく、小麦の栄養生育が正常でなかった。成熟成長期に入ってから降水に恵まれずなかったが、穂孕み期から開花期に急激な気温の上昇に遭遇せず、この事がある程度の単位収量の確保に繋がった。但し、乾燥条件はその後の登熟に影響を示し、小麦粒の澱粉蓄積を悪くし、全地域で2001年産小麦に比較し低容積重、低1000粒重となった。但し蛋白質量は昨年以上である。収穫期に入ってから降水も少なかった結果として、Falling Number値は高目である。

Source : Kansas Agricultural Statistics Service